



# JAMS NEWS

日本経営システム学会

<http://www.jams-web.jp/>

## 日本経営システム学会 第73回全国研究発表大会のご案内

会員の皆様には、時下益々ご清祥こととお慶び申し上げます。さて、日本経営システム学会第73回全国研究発表大会が2024年12月7日（土）、8日（日）に開催されます。多くの会員の皆さまのご参加およびご発表を心よりお待ちしております。

### 記

開催日：2024年12月7日（土）、8日（日）

主催校：広島工業大学 五日市キャンパス

〒731-5193 広島市佐伯区三宅 2-1-1

<https://www.it-hiroshima.ac.jp/access/itsukaichi/>

開催形式：対面での実施

連絡先：実行委員長 広島工業大学 松本慎平 E-mail:s.matsumoto.gk@cc.it-hiroshima.ac.jp

主催：日本経営システム学会

統一論題：「技術の民主化と経営システム」

基調講演：「技術の民主化と経営システム」 武村達也様（株式会社エル・ティー・エス，広島インターネットビジネスソサエティ・DX研究部会・部会長，特定非営利活動法人 HMCN）

参加費：会員 5,000 円、学生会員 3,000 円、協賛学会員・同学生会員はそれぞれ会員・学生会員と同額、非会員 6,000 円、非会員学生 4,000 円（当日支払は各 1,000 円高）

※参加人数の事前把握と受付混雑緩和のため、事前の参加申込へのご協力をお願いいたします。

懇親会費：会員 5,000 円、学生会員 3,000 円、協賛学会員 5,000 円、非会員 6,000 円

（当日支払各 1,000 円高）。準備の関係上、事前申し込みをお願いします。

昼食：最寄りのコンビニエンスストア等をご利用ください。商店街に飲食店がございます。

宿泊：会場周辺にはホテルがございません。広島市内のホテルをご手配下さい。観光シーズンのため早めのご予約をお勧めします。

発表申込：発表申し込みは、学会ホームページ <http://www.jams-web.jp/> の発表申込フォームから申し込みいただくか、ダウンロードした申込書に必要事項を記入の上、メール添付で学会事務局 E-Mail: keieisys@jams-web.jp へ、10月11日（金）までに送信してください。本 JAMS NEWS の発表申込書を学会事務局宛 Fax.03-3371-5185 にご送付いただいても構いません。

原稿締切：pdf および word 入稿または郵送にて、11月1日（金）まで（厳守）、学会事務局宛または第73回大会発表原稿入稿フォームからご投稿ください。

参加申込：次号 JAMS NEWS に同封の振込用紙または HP の振込方法を参考に11月30日（金）までに上記金額をお振込み下さい。期限後に振込みされた方は振込控えまたはコピーをお持ち下さい。

### ■大会会場へのアクセス

・広島駅より五日市駅 JR 山陽本線 各停 15 分

・五日市駅から

電車：広電（広島電鉄）宮島線「広電宮島口」方面行きに乗車「楽々園」下車 徒歩 15 分

バス：五日市駅発「楽々園」經由「東観音台団地」「湯来温泉」行きに乗車「広島工大入口」下車 徒歩 3 分

タクシー：タクシー乗車（約 12 分、約 900 円）

#### ■会場設備について

発表会場の PC の準備はございません。各自 PC をご持参ください。なお、発表会場にあるプロジェクトとの接続ケーブルは、HDMI のみとなります。もし HDMI 接続端子が装備されていない PC をお持ちの方は、HDMI 変換アダプタもご持参ください。

#### ■研究発表に関する細則について

当学会では、研究発表大会をスムーズに運営するために、口頭発表に関して「研究発表細則」(学会ホームページ <http://www.jams-web.jp/download/jams-kenkyuuhappyou.pdf>) に従って運営しています。口頭発表を申し込まれる前にご確認ください。なお、この細則は、大会委員会および大会実行委員会により運用されます。不明な点がございましたら、学会事務局へお問い合わせください。

#### ■学生研究発表優秀賞について

当学会では、学生セッションの研究発表を審査して優秀な発表には「学生研究発表優秀賞」を授与しています。学生であれば、正会員・学生会員を問わず、学生セッションの研究発表は審査の対象となります。ただし、下記の点にご留意下さい。

- ・学生セッションの発表は、正会員との連名とし、ファースト・オーサーは学生とします。
- ・学生セッションでの単独発表は、正会員の学生に限ります。
- ・学生研究発表優秀賞の受賞対象者は、単独発表、連名発表のファースト・オーサーの学生のみとします。
- ・学生セッションの発表原稿は、会員の種別を問わず 2 頁とします。

---

## 第 72 回全国研究発表大会の報告

---

実行委員長 麗澤大学 吉田健一郎

第 72 回全国研究発表大会は、2024 年 5 月 18 日 (土)、19 日 (日) の 2 日間、麗澤大学 柏キャンパスに開催させていただきました。

統一論題は「AI と経営システム」とし、基調講演は「ひとにやさしい AI と経営システム」を麗澤大学工学部 小塩篤史教授にご発表いただきました。

研究の発表件数は 59 件 (一般発表 32 件、学生発表 21 件、研究部会発表 6 件) であり、参加者は 131 名と多くの方々にご参加いただき、活発な議論が行われました。

また、懇親会では 50 名のご参加があり、盛大に開催することができました。

会長の椎原先生をはじめ理事の先生方、事務局の皆様、発表・司会をお引き受け下さった会員の皆様の多大なご協力を賜り、無事開催を終えることができました。深く御礼申し上げます。

---

## 学生研究発表優秀賞について

---

表彰委員長 深澤 琢也

第 72 回全国研究発表大会 (会場：麗澤大学 柏キャンパス) 終了後、表彰委員会において、厳正かつ慎重に受賞候補者を選考いたしました。その後、理事会の審議を経て下記 2 名が学生研究発表優秀賞の受賞者に決定しましたので報告いたします。

「質的比較分析 (fsQCA) による製薬研究者のワークモチベーション規定要因の検討」

前川 友裕 (立命館大学)

「好意的な感情化に向けた欲求の共創方法論の提示—感性デザインによる職場ストレス抑止策—」

康永 直樹 (早稲田大学)

---

## 2023 年度第 4 回理事会のまとめ

---

- I. 開催日時：2024 年 3 月 29 日（金） 14 時 00 分～15 時 40 分
- II. 開催場所：東海大学品川キャンパス 1 号館 2 階会議室
- III. 出席者：椎原正次、板倉宏昭、鄭年皓、西口宏美、江口翔一、後藤智、田畑智章、永松陽明、深澤琢也、三森八重子、上原衛、金子勝一、佐藤修、山下洋史、松丸正延、吉田健一郎（オブザーバー） 記録者：鄭年皓（敬称略）

### IV. 審議事項

- 椎原会長より、第 72 回全国研究発表大会実行委員長の吉田健一郎先生(麗澤大学)にオブザーバーとしてご参加いただくことが提案され了承された。
- 1. 2023 年度第 3 回議事録の確認(江口)：資料の通り説明され了承された。
  - 2. 会員の入退会について(江口)：資料の通り説明され了承された。2024 年 3 月 24 日現在、正会員入会希望者 11 名、学生会員入会希望者 8 名、正会員退会希望者 8 名、学生会員退会希望者 11 名で、会員構成は正会員 408 名、学生会員 171 名、特別会員 4 名となった。会長より、所属と推薦者の不明な入会希望者について、再確認するように依頼があった。
  - 3. 第 72 回全国研究発表大会の準備状況について(吉田)：第 72 回全国研究発表大会(於：麗澤大学)の準備状況について報告され了承された。統一論題は「AI と経営システム」、発表申込件数は 65 件(一般セッション 34 件、部会発表 7 件、学生セッション 24 件)である。
  - 4. 第 73 回全国研究発表大会について(永松)：第 72 回全国研究発表大会(於：広島工業大学)の準備状況が報告され了承された。会長より、開催候補日に 12 月も含めて検討いただけるよう依頼があった。
  - 5. 役員選出規程の改定について(金子)：資料の通り、役員選出規程の改定案が報告され、通常総会に諮ることが了承された。また、会長より、改正案に「規定」と「規程」が混ざっており、それを使い分けて修正するように依頼があった。
  - 6. 2023 年「学会賞」「論文奨励賞」受賞候補者推薦の件(深澤)：学会賞の対象業績と候補者が推薦され(論文奨励賞は該当なし)、「半導体デバイス市場の多重解像度解析—長周期変動におけるマクロ経済変動の影響—」(小川貴史氏)の学会賞受賞が了承された。
  - 7. 基本財産格納のための処置について(田畑)：繰越金の基本財産への組入れに必要な新規口座の開設に、金融機関より「学会の本拠地の記載」「事務局が学会の会計業務を行うことの記載」が求められ、会則変更の必要性が提起された。会則変更案については、金融機関の関連規定に照らし、財務委員会と規定委員会が最終案を次回の理事会で提案することが了承された。
  - 8. 理事の追加指名について(椎原)：麗澤大学の吉田健一郎先生を理事への追加が提案され了承された。

### V. 報告事項

- 1. 総会資料の作成依頼(椎原)：次第の確認と、支部・研究会等に関する不明確な情報をチェックし、総会資料を作成するように依頼があった。
- 2. 総会および評議員会の開催通知(江口)：資料の通り、開催通知の内容とスケジュールが報告された。
- 3. 第 71 回全国研究発表大会収支報告(長松)：資料の通り、第 71 回全国研究発表大会(於：東北大学)の収支報告がなされた。
- 4. 学生研究発表優秀賞について(深澤)：第 71 回全国研究発表大会における学生研究発表優秀賞の受賞内容が報告された。また、当学会のホームページに、受賞者と受賞研究を公開するように依頼があった。

---

## 2023 年度第 5 回理事会のまとめ

---

- I. 開催日時：2024 年 5 月 1 日（水） 18 時 00 分～20 時 00 分
- II. 開催場所：Zoom 形式
- III. 出席者：椎原正次、板倉宏昭、鄭年皓、西口宏美、石田修一、今井正文、江口翔一、川中孝章、後藤智、柴田淳子、田畑智章、柊紫乃、水上祐治、三森八重子、村山誠、稲永健太郎、上西啓介、奥井秀樹、金子勝一、佐々木桐子、佐藤修、塩出省吾、谷崎隆士、東海詩帆、中井秀樹、林誠、堀江育也、村山賢哉、毛利進太郎、山下洋史、吉田健一郎、松岡公二、松丸正延 記録者：中井秀樹（敬称略）

#### IV. 審議事項

椎原会長より、第 72 回全国研究発表大会実行委員長の吉田健一郎先生(麗澤大学)にオブザーバーとしてご参加いただくことが提案され了承された。

1. 2023 年度第 4 回議事録の確認(江口)：資料の通り説明された。正会員数の記述に誤りがあることが指摘され、修正したうえで確定とすることになった。
2. 会員の入退会について(江口)：資料の通り説明され了承された。2024 年 4 月 26 日現在、正会員 480 名、学生会員 172 名、特別会員 4 名となった。
3. 第 72 回全国研究発表大会の準備状況について(吉田)：第 72 回全国研究発表大会の準備状況について説明され了承された。発表件数は 59 件となった。大会委員会からは、研究発表細則第 9 条の「研究発表の連名者は、全員会員でなくてはならない。また、大会当日は、連名者も大会に参加することを原則とする。」の周知を徹底したいという提案があった。そこで、広報委員会が JAMS News および Web サイトの申し込みサイトへの記載を検討することになった。大会に関して急な審議が必要になった場合は、電子メールによる審議を適用されることが了承された。
4. 第 73 回全国研究発表大会について(佐々木)：第 73 回全国研究発表大会の準備状況について説明され了承された。大会の開催日は、12/7・8 となった。実行委員会体制についての確認がされた。大会に関して急な審議が必要になった場合は、電子メールによる審議を適用されることが了承された。
5. 2023 年度年度決算・2024 年度予算について(田畑)：決算が資料の通り説明された。決算では学会誌掲載収入が非常に伸びたことが大きい。諸会費については、2 年分の支払いをした会費があるために予算を超過したことが説明された。また、査読者への謝礼として図書カードを用意していたが、購入が困難になってきたために QUO カードに切り替えることが提案された。問題点について検討したうえで、改めて検討することになった。そして、松丸監査より監査報告がなされたのちに、決算が承認された。予算案についても資料の通り説明された。支出の部の諸会費を例年通りの 165,000 とし、研究部会数に合わせて研究部会費を設定し、収入の部を調整することで承認された。予算案の最終的な修正については、財務委員長と会長に一任された。
6. 郵便口座の開設について(田畑)：基本財産の増額の手続きにおいて、口座開設のために会則の変更が必要となり、会則の文言について適切に修正することが提案され承認された。なお、口座開設について引き続き行われることが確認された。
7. 会則の改定について(村山)：総会に諮るための会則の改定案が説明された。第 33 条の 2 項と 3 項を入れ替えた上で、承認された。総会の議案書には、新旧対応表のみを掲載することが確認された。総会までに修正が必要だった場合は、規定委員長、総務委員長、会長に一任されることになった。
8. 研究プロジェクトの終了について(三森)：意思決定モデル研究部会と R+ERP 経営研究部会の活動終了が、主査より研究部会に申請された。研究委員会で審査した結果が報告され、研究部会細則の第 6 条に基づき廃止が了承された。
9. 第 45 回通常総会議案書について(江口)：総会資料について説明され内容の確認がなされた。理事会から修正箇所が指摘され修正することになった。総会までに修正が必要だった場合は、総務委員長と会長に一任されることになった。
10. 総会での役割分担について(椎原)：議事録署名人 2 名と書記 2 名の候補者について評議員を中心として依頼することが了承された。候補者は、慣例により大会実行委員長と会長で探し、次回理事会で報告されることが確認された。議長の候補者については、江口総務委員長とすることが了承された。次に総会司会を寺本大会実行委員に、各議案の説明は、西口副会長、田畑財務委員長、松丸監事、村山規定委員長が担当することになった。
11. 名誉会員の推薦について(椎原)：塩出元会長が名誉会員に推薦され、承認された。
12. 役員の補充について(椎原)：第 73 回全国研究発表大会の松本大会実行委員長が理事に推薦され、承認された。

#### V. 報告事項

1. 総会および評議員会の開催について(江口)：前回の理事会での確認の通り、案内の送付を行ったことが報告された。発送数 462 通のうち、総会の成立要件である 1/4 以上の出席及び委任状が届いていることが報告された。
2. 学会賞の受賞候補者の確認について(椎原)：資料の通り報告された。推薦理由などの文面や誤りなどの確認が行われた。

---

## 経営モデル研究部会のお知らせ

---

経営モデル研究部会 2024 年度第 2 回研究部会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時：2024 年 9 月 28 日（土） 15:00-17:00

開催場所：ZOOM によるオンライン会議形式

発表予定者：

(1) 「密度依存理論による各地域における企業の密度比較 -横浜市の建設業界を題材にして-」

服部恭介（日本大学）、水上祐治（日本大学）

(2) 調整中

連絡先：田畑 智章（東海大学） TEL.03-3441-1171（代表）/E-Mail:tabata@tokai-u.jp

〃：金子 勝一（山梨学院大学） TEL.055-224-1337/E-Mail:kaneko.shoichi@c2c.ac.jp

研究部会 Web ページ <http://www.jams-web.jp/information/sectmm2024.html>

---

## ヒューマンリソース（HR）研究部会のお知らせ

---

ヒューマンリソース（HR）研究部会 2024 年度第 3 回研究部会（第 151 回）を開催いたしますので、ご案内申し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時：2024 年 10 月 5 日（土） 15:00-17:00

開催場所：ZOOM によるオンライン会議形式

発表予定者：調整中

連絡先（幹事）：金子勝一（山梨学院大学） Tel.055-224-1337 E-mail:kaneko.shoichi@c2c.ac.jp

研究部会 Web ページ：<http://www.jams-web.jp/information/secthr2024.html>

---

## 入会者リスト

(2023. 11. 16～2024. 5. 18)

---

### 1. 正会員入会希望者

| 氏 名   | 所 属         | 氏 名    | 所 属     |
|-------|-------------|--------|---------|
| 瀧波 康修 | 埼玉大学大学院     | 高島 ひかる | タクミナ    |
| 尾形 真輝 | 東芝インフラシステムズ | 藤崎 晴彦  | 横浜市立大学  |
| 山口 鐘畿 | 早稲田大学大学院    | 常 晨    | 北京工業大学  |
| 井口 卓郎 | ファインドイット    | 谷口 正城  | 立命館大学   |
| 下坂 英司 | 立命館大学大学院    | バヤスガラン | 中央学院大学  |
| 神崎 真隆 | タクミナ        | 原 祥太   | 三菱総合研究所 |
| 中村 昇平 | タクミナ        | 峯島 海瑠  | 沖電気工業   |

### 2. 正会員から学生会員へ種別変更

| 氏 名  | 所 属     |
|------|---------|
| 荒木 亘 | 東北大学大学院 |

### 3. 学生会員入会希望者

| 氏 名     | 所 属      | 氏 名    | 所 属      |
|---------|----------|--------|----------|
| 前川 友裕   | 立命館大学大学院 | 馬場 翔吾  | 青山学院大学   |
| 岡部 開翔   | 神奈川大学    | 李 子奇   | 立命館大学    |
| 石川 貴章   | 法政大学大学院  | 内田 晃秀  | 早稲田大学大学院 |
| 福山 歩武   | 近畿大学大学院  | 藍木 秀   | 関西大学大学院  |
| ヒメネスベルデ | 摂南大学     | 林下 英司  | 立命館大学    |
| ホイッセイ   |          | 加納 万侑加 | 東北大学大学院  |
| 藤原 匠之介  | 近畿大学大学院  | 眞鍋 貫治  | 立命館大学    |
| 新井 崇之   | 立命館大学    | 徳増 伶太  | 東北大学大学院  |

# 日本経営システム学会 研究発表申込書

## 2024 年度 第 73 回全国研究発表大会

発表種類（研究、部会）（発表種類のいずれかを○でお囲み下さい）

発表セッション区分（一般セッション、学生セッション）（区分のいずれかを○でお囲み下さい）

口頭発表者会員種別（正会員、学生会員）（会員種別のいずれかを○でお囲み下さい）

☐ 会員連絡先

|            |     |     |        |
|------------|-----|-----|--------|
| 会 員 名      |     |     |        |
| 所 属        |     |     |        |
| 住所（勤務先・自宅） | 〒   |     |        |
| 連 絡 先      | TEL | FAX | E-mail |

☐ 論題および発表者

|                          |           |              |
|--------------------------|-----------|--------------|
| 論 題                      |           |              |
| ふりがな<br>発表者氏名（所属）        | 1.<br>( ) | 2.<br>( )    |
| 当日の口頭発表者には*を付す           | 3.<br>( ) | 4.<br>( )    |
| 研 究 部 会 名<br>（研究部会発表の場合） |           | 代表者名：<br>( ) |

☐ 発表要旨（200 字以内・ワープロプリント貼付可）

|                 |  |  |  |  |  |
|-----------------|--|--|--|--|--|
|                 |  |  |  |  |  |
| キーワード<br>（必ず記入） |  |  |  |  |  |

注：1) 大会プログラムは、この申込書のキーワードおよび発表要旨により編成いたします。

2) プログラム、論文集目次の論題および口頭発表者・連絡者は申込書の記載どおりに掲載いたしますので、明確に楷書にてご記入下さい。（ワープロプリント貼付可）

3) 論文集原稿締切日までに間に合わない場合は、プログラムに掲載され、発表時間も確保されておりますが発表取り消しとしますので、ご了承ください



# 日本経営システム学会

住所 〒169-0073 東京都新宿区百人町 1-20-3 バラードハイム 703  
TEL03-3371-5324・FAX03-3371-5185  
E-Mail: keieisys@jams-web.jp